平成30年7月豪雨災害 避難所支援に関して

西日本を中心とした「平成30年7月豪雨」により被災された皆様方に、衷心よりお見舞い申し上げますとともに、お亡くなりなられた方々に謹んでご冥福をお祈りいたします。

福岡県言語聴覚士会では発災後より災害対策本部を立ち上げ、会員の被災状況の確認、及び福岡 JRAT と連携を図り情報収集を行ってきました。幸い福岡県では復旧作業が進んでおり、被災前の生活を取り戻しつつあります。一方で甚大な被害を受けた岡山県、広島県、愛媛県ではまだまだ復旧に時間を要す状況であり、避難所生活の長期化による健康被害が懸念されております。

この度 JRAT（大規模災害リハビリテーション支援関連団体連絡協議会）より福岡 JRAT を通じて、岡山県の避難所支援チーム派遣に関する依頼がありました。当会としては長期にわたる支援を行っていくつもりであり、会員皆様のご理解とご協力をお願い申し上げる次第です。つきましては、下記の「派遣に関する注意事項」及び**別紙の「人員派遣登録用紙」**をご確認の上、必要事項の記載及び福岡 JRAT への派遣登録をお願い致します。

【派遣に関する注意事項】

①臨床における経験年数が 5 年以上経過しており、福岡県言語聴覚士会の会員である。

②福岡県 JRAT からの派遣とし、現地災害医療チームと協働して支援活動を開始する。

※被災地での混乱を回避するため会員個人としてではなく、当会ならびに福岡県 JRAT を通してのご支援を切ににお願い致します。

③チームの編成としては基本的に Dr. 1 名+療法士 2～3 名もしくは療法士 3～5 名からなり、本部からの要請に応じて福岡県 JRAT で構成メンバーを決定し、通知する。

④現地滞在期間は 3～5 日間が基本となる。

⑤派遣時期に関しては JRAT、福岡県 JRAT からの要請状況により異なる。

※現地の状況次第で、申請いただいた期間でのご要望にお応えできない場合もございますので了承ください。

⑥JRAT としての活動に関しては岡山県を通じての保険が適用される。

⑦現地までの移動手段(車)、現地滞在中の居所、食料、水、衣料、燃料などは派遣者自身もしくはチーム単位での確保となる。

福岡県言語聴覚士会災害対策本部

対策本部長　　：佐藤　文保（福岡県言語聴覚士会会長）

副対策本部長　　：佐々木　哲（福岡県言語聴覚士会副会長）

事務局長　　：灘吉　享子（福岡県言語聴覚士会事務局長）

コーディネーター：吉永　明史（福岡県言語聴覚士会社会局長）

※本件問い合わせ先

吉永　明史

TEL：092‐407‐0368（福岡国際医療福祉学院　言語聴覚学科直通）

FAX：092‐832‐1191

E-mail：yoshinaga@takagigakuen.ac.jp